

【施策評価調査】

施策名	1-1-6	適正な土地利用の推進		72	政策「1-1.計画的な市街地整備」を実現するためには、快適に暮らせるまちづくりの実現に向け、区画整理事業を計画どおりに実施すること。宝積寺駅周辺地区を整備し、利便性の向上を図ること。景観条例を制定し、良好な景観を形成すること。 ですが、そのうちこの施策については、快適に暮らせるまちづくりの実現のため、現況の土地利用特性を考慮したゾーニングを行ったうえで、適正な土地利用が行われるよう、随時見直し検討を行ってまいります。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部署	建設産業部都市整備課	担当	都市整備担当		用途地域*や景観地区などの適正な指定と、適切な見直しを行います。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		リーダー	阿久津 靖		
環境変化	平成18年度において、高根沢町都市計画マスタープランを策定し、まちづくりの指針を策定した。				

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：見直し作業進捗率(%)	平成16年度市街化区域560ha	計画	0ha	123ha	178ha	206ha	560ha
	0ha	実績	0ha	0ha	0ha		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	20,000	0		
	決算	0	4,320	0		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)				
地域・地区指定見直し事業費	当初	0	見直し作業進捗率(市街化区域560ha)	B	平成23年度事業完了予定の宝積寺駅西第一土地区画整理事業地内について、用途地域変更の検討を行うことで、適正な土地利用を行うことができる。			
	決算	0			0ha / 178ha	今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)
	当初							
	決算	/			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初							
	決算	/			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初							
	決算	/			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初							
	決算	/			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	地域の特性や実情に即した用途地域の見直しは必要であり、宝積寺駅西第一土地区画整理事業地内の不整合が解消できる。	宝積寺中坂上地区の地域・地区指定の見直しをすすめ、都市計画マスタープランとの整合を図りながら、町の将来あるべき姿を見極める必要がある。
総合評価	■ 総合評価 ■ 期待した成果が得られておらず、後期計画策定にあたっては、都市計画マスタープランと町の将来あるべき姿を考えた施策展開を検討すること、また、併せて施策指標も見直すこと。宝積寺中坂上地区の見直しについては、関係する各課と連携すること。	